



読者のひろば

Readers' Square

BABY

わが家の天使 こんにちわ赤ちゃん



かつかわ しゅうま
勝河 秀真 くん
(広崎2町内)

いつも家族を笑顔にしてくれてありがとう！これからもたくさん食べて、大きくなってね！

パパ 昭典さん ママ 裕子さん



いせり ゆあ
井芹 結空 ちゃん
(広崎3町内)

おじいちゃん、おばあちゃん、いつも可愛がってくれてありがとう♡パパ、お仕事頑張ってる♡

パパ 翔太郎さん ママ 由梨香さん



もとずみ みつき
本住 弥月 ちゃん
(広崎1町内)

じいじ、ばあば、いつもありがとう。お姉ちゃん大好き♡これからもたくさん遊んでね！！

パパ 徹弥さん ママ 有希さん



ふじもと いちか
藤本 一花 ちゃん
(広崎4町内)

すくすく成長中！
毎日、歩く練習がんばってまーす☆

パパ 智也さん ママ 愛さん

益城の文化財
町文化財保護委員会



上小谷

延命寺跡「矜羯羅堂」



地元で「コンガラサン」と呼ばれ、古くは「農作物の神」・「虫除けの神」として信仰されていました。

堂内には、地蔵尊像（2体）・矜羯羅童子・制吒伽童子と思われる4体の像が安置されています。また、文政9（1826）年再建の棟札が納めてあります。現在の堂は、昭和58年に建て替えてありますが、それまでは8畳ほどの拝殿もあったそうです。

矜羯羅童子と制吒伽童子は、修験者が信仰の対象にする不動明王に仕える「八大童子」の一人です。矜羯羅童子は第7番目で、通常は不動明王の左側（向かって右）に安置されます。制吒伽童子は第8番目で右側に安置されます。いずれも不動明王の脇侍を務めるとされています。下小谷の「不動尊堂」に不動明王が安置されており、この三仏が一体として信仰されたという説もあります。

資料によると、この地には「延命寺」が存在したとあり、地蔵堂を併置して地蔵を祀っていたと考えられています。この地蔵尊像は、「延命寺の地蔵」ではないかといわれています。

地蔵尊は、お釈迦様が亡くなってから56億6千万年後に弥勒菩薩がこの世に現れるまでの仏のいない時代に、苦しむ人々を救う仏といわれています。多くは髪がない剃髪で、左手に宝珠、右手に錫杖を持っており、現世（娑婆）で悶え苦しむ非力で最も弱い立場の人を救済する菩薩として、古来より信仰の対象とされたといわれています。

小谷地区は地震の被害も甚大でしたが、この堂内や高遊原公園内にある「阿蘇大神拝所（御拝塔）」・「十一面観音像」の修復にいち早く取り組まれました。地区の皆さんの信仰心の表われであると思います。

参考文献：『益城町史 通史編』